

上野原市公共施設マネジメント計画一部改訂（案）パブリック・コメント実施結果

No.	ご意見の該当箇所	意見内容	市の考え方
1	P7 基本5原則が記載されている。	上野原市公共施設等総合管理計画Ⅱ期案のP30にも基本5原則があるが表現に違いがある。一方では「公共建築物の適正配置」もう一方では「建物施設の適正配置」。同じものを2つの書類で別々に記載することは整合性に問題が出る可能性や整合性を取る手間の点から不適切。一方で記載したものをもう一方では参照するようになり、2つそれぞれにかならず、正確に転記すべき。	ご指摘のとおり、当該箇所は公共施設等総合管理計画からの引用であることから、同計画（第Ⅱ期）の記載を基に修正します。
2	P7 「延床面積を25%（36,797㎡）削減する目標を定めています。」という記載がある。	上野原市公共施設等総合管理計画Ⅱ期案のP32では、30%の削減が目標となっており整合していない。また、ここで太字になっているのもレイアウトの統一が乱れている。	今回の一部改訂は、秋山複合施設建設に伴い、該当する記述を改めるもので、具体的には、82ページ表27の該当箇所に施設の複合化に関する内容を追記するなどの改訂です。軽微な内容や誤記の修正を除き、計画の全体的な改訂はここでは行わず、計画期間満了時に検討するものとし、ご指摘の内容は次回改訂時の参考とします。
3	P11 公衆トイレに時計の公園のトイレとスポーツの公園のトイレが記載されていない。	記載すべき。参考資料を添付しました。	No.2に同じ
4	P14 地図に「地理院地図」と表記されている。	地図の利用にあたってこの表記だけでよいのか疑問。参考 https://maps.gsi.go.jp/help/termsfuse.html https://www.gsi.go.jp/kikakuchousei/kikakuchousei40182.htm	P14に下記のとおり追記します。「（地理院地図を加工して作成／図11～18も同じ）」
5	P16 施設配置の地図などがある	コモアしおつの時計の公園とスポーツの公園のトイレの記載がないので記載すべき。	No.2に同じ
6	P18 施設配置の地図などがある	上野原駅のエレベーター施設の記載がないので記載すべき。このほかにも記載がないものがありそうなのでチェックすべき。	No.2に同じ
7	P26 公衆トイレについて「利用者数は施設特性から把握できていません。」とある。	水道の使用水量から推計することはできないのか？	No.2に同じ
8	P30 図書館の評価が蔵書回転率とされている。	蔵書回転率は施設のハードウェアとしての有効性ではなく、蔵書内容・蔵書数、アクセスの容易さ、その図書館の利用者が住んでる面積当たりの人口など、施設のよさ以外の影響が大きいと考えられるので、別の指標にすべき。また、蔵書が図書館以外にも収納されているのであれば、図書館以外で収納されている本の数に影響されない指標がいいと考えられる。	No.2に同じ
9	P30 学校の稼働率が児童生徒数平均当たりの㎡との比較になっている	特殊教室のありなしによる影響を排除するため、普通教室面積に対して評価する方がいいように思う。全面積に対しての評価は4、床面積コストで行われると考えられる。	No.2に同じ
10	P31 未利用施設等の稼働率の評価点が1点とされている。	未利用施設等は稼働率だけではなくほかの評価も含め総合で0点でいいのではないのか？	No.2に同じ
11	P32 「有効活用が図られているか。（対象は休止施設のみ）」と書かれている。	休止しているのであれば現在利用されていないはずなので、利用されていない施設について有効利用が図られているかいないかという評価基準は理解できない。今後有効利用をする案があるかどうかという意味ならそのように書くべき。	No.2に同じ
12	P32 「第2期上野原市まち・ひとしご創生総合戦略関連しているか。」とある。	「上野原市みらい戦略2025-2030」の方が適切なのではないか？	No.2に同じ
13	P41 上野原市役所（多目的ホール棟）について、同種の施設がないので平均面積コストが3点になっている。	面積コストが示されていないので良く判らないが、この施設のコストは結構大きいのではないかと感じる。このように同種の施設がない場合の評価を3点にすると、このような施設のコスト削減について推進するという考えにならないように思うので、市全体の平均コストとの比較など、同種の施設がない場合でも、高コストの施設についてコスト削減の方向に向くような評価方法が必要だと思う。	No.2に同じ
14	P53 (1.34)と赤字で表示されている。	かっこがなぜあるのか意味が解らない。赤字になっている理由もわからない。P59などにも同様の例がある。	マイナス数値を赤字で表現しています。次回改訂時によりわかりやすい表現を検討します。
15	P56 平均面積コストに0がある。	経費がかからないということがあり得るのか疑問。	指定管理者による維持管理が行われていることなどが理由と考えられます。次回改訂時によりわかりやすい表現を検討します。
16	P60 シルバー人材センター・・・新町1丁目検問所・・・	別の施設の収入が平均面積コストに影響する理由がわからない。	「新町一丁目検問所の」を削除します。
17	P67 裏山共同堆肥製造施設について市の関与が必要だとなっている。	なぜ市の関与が必要なのか想像できない。農業者団体で運営する方法はとれないのか？	No.2に同じ
18	P84 30年間の更新費用の総額が263億円となっている。	上野原市の30年間の財政で、この金額を負担できるという根拠が示されていない。歳入の範囲内で支出可能な更新費用なのかどうか。もし、歳入が少なければもっと更新費用を削減する必要があるはずであり、この点について説明が必要。	No.2に同じ